

マーチン切手に遊ぶ

1954年から発行されたエリザベス女王切手。切手研時代にその美しさと、バラエティーに魅せられた。戸塚スタンプのショーケース上の箱に山になった紙付切手で完集



Wilding タイプ
普通切手



Machin 普通切手

し、Lighthouse アルバムに似たクラウンアルバム最初の1ページに整理したのが Wilding タイプ普通切手であった。ふと、ストックブックに散乱しているエリザベス女王 Machin 普通切手を整理しようと思い立った。しかし、その種類のなんと多いことか。カタログを見れば老いた眼にはとても判読不能のレベル。ネットを検索、かなりのサイトはあるが、覗くほどに混乱を増すことになる。問題は整理、分類の物差しを何種類使用するかと感じた。意匠、料額、色、目打ち、印刷、燐線、印刷会社、模造防止方法、媒体（ロール、切手帳、小型シート）、糊、シール等々の物差しがあるようだが、自分の切手量と時間を考えて、次の6種の物差しで整理することにした。意匠、料額、色、目打ち、印刷、模造防止方法の一部を尺度に整理に臨んだ。まず、この尺度選択に近い物差しで整理しているサイトを探した。Wikipedia には時系列順に料額、色、目打ちが判り易く整理されているが、他の物差しがない。いくつかのサイトの中、合致するサイトを見つけた。Great Britain Machins, by Adminware² というサイトである。自分相応のレベルで目打ち、印刷、模造防止方法等からも整理してあるサイトであるが、目的の切手か確認するのにやや難を感じるのと、個々の切手の検討には便利だが、複数尺度からのクロス検討、全体の流れを掴むのには向いていない。そこでルーペ使用無しで比較可能な切手を選択し PC に

1. https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_Machin_stamps
2. <http://www.adminware.ca/machin.htm>



通常目打 長目打 シール・スリット 平版 EME

目打 再利用防止策 電子グラビア =EME
入力して整理した。(12P=1SH、20SH=1ポンド時 1970年の切手から 2015年末まで) 使用整理尺度補足のために基本的確認

★全体を把握

まず全体で何種類あるか。今回の粗い整理の仕方ですえ 543種が存在した。

★料額表示で整理すると

旧単位 (Pre-Decimal) 20種

現単位 (Decimal) 470種

文字表示 (1ST、WORLDWIDE 等) 53種

★意匠、形状で整理すると

地方発行 204種 (マン島 4種、北アイルランド 70種、スコットランド 65種、ウェールズ 65種) 切手発行 150年等記念 13種、重量宛先地域等表示 9種

サイズの種類 横長 14種、大型 20種

さて、過去 48年、543種の発行状況、切手の印刷、目打を図示すると図 1~3 のようになっている。地方切手が例外の 1999年、2000年北アイルランド 5種を除き全て同時



マン島、北アイルランド、スコットランド、ウェールズ



切手 150年記念 重量宛先地域表示 数字拡大表示

に3種発行されたことが発行種類数に大きく影響していることが図1からも読み取れる。48年間、543種発行は数的には年平均11種発行ということになる。図1のような振幅の変化はこの間の英国の郵便料金の改定時期(20回以上、料額は13倍にもなる値上げ)と数の変化に明確な関連を見出すことはできない様である。

印刷を整理すると、図2の平版の線は図1の地方切手の線とほとんど合致しており、更に、印刷方式の割合を整理すると図4のように普通切手と異なり地方切手の半数以上が平版で印刷されていた。また、1997年開始のEMEは当初グラビア印刷すべてに使用されて



他と明らかに異なる形状

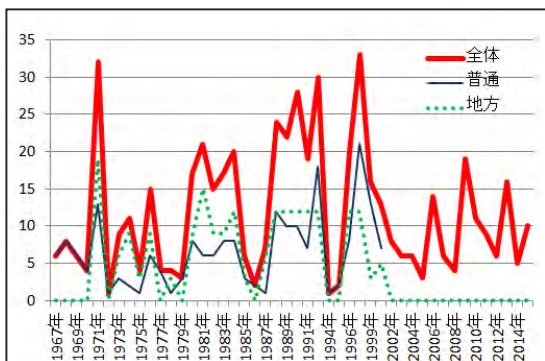


図1 マーチン切手の発行推移(全体には地方を含む)

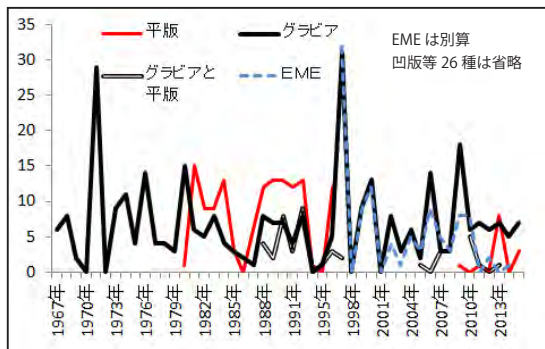


図2 マーチン切手の印刷推移(全体には地方を含む)

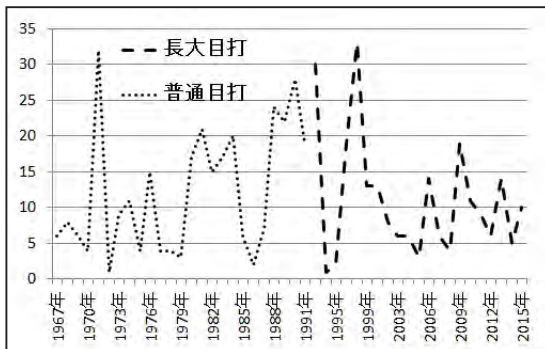


図3 マーチン切手の目打別発行数

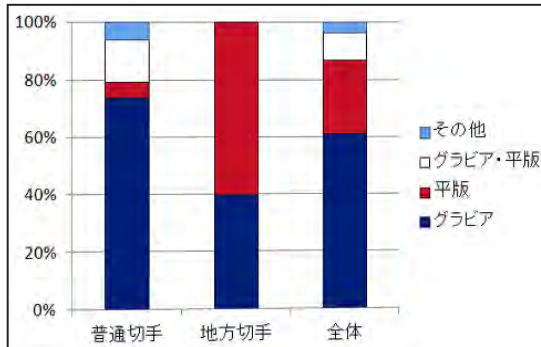


図4 マーチン切手の印刷方式割合の比較

いたのが徐々に使用しないものが目立つようになってきている。印刷を詳しく検討するには5社以上が関わっている印刷会社からの整理が不可欠だがとても我が身には不可能。

目打は1991年まで通常目打、1993年以降は長大目打に切り替えられたが、1996年25p salmon pink、1999年1STのembossed, engraved, typographed印刷大型3種、計4種だけに通常目打がなされている。

この他、模造防止より再利用防止のためであろう特殊糊、スリットなどでの整理もできるようだが、水はがしが出来ないの紙付の整理が必要なようだ。

次に、切手に印刷された料額である。色を度外視してポンド以下の数値が87、ポンド単位数値が23、料額表示なく郵便区分表示が7、旧貨幣単位表示が18、計135種の料額等が印刷されている。どの料額が数多く、つまり何回も発行されているか、地方切手、郵便区分表示の3群で整理したのが表1～表3であり、Machin切手の整理の煩雑さを如実に示

表1 幾らの切手が何回発行されたか

発行種	料額種	該当料額
9回発行	3	20P、50P、£1.00
8回発行	2	5P、10P、
6回発行	3	2P、4P、26P
5回発行	3	1P、35P、37P
4回発行	9	6P、7P、17P、22P
3回発行	19	31P、34P、39P
2回発行	22	£2.00、£5.00
1回発行	49	
合計	110	総合計 246種

表2 幾らの地方切手が何回発行されたか

発行種	料額種	該当料額
15 (5)	1	26P
9 (3)	4	18P,20P,22P,37P
7 (2)	1	19P
6 (2)	7	12P,14P,15P,17P
4 (1)	4	24P,28P,63P
3 (1)	27	実質の発行種は3地
1スコット*	4	方で紋章が異なるので
総計	48	カッコ内の数となる

表3 どの単語表示切手が何回発行されたか

サービス内容記述	発行数
1ST	29
2ND	10
Royal mail signed for	4
WORLDWIDE	3
E	2
EUROPE	2
Special Delivery	2



1989～2015年に発行された基本的なMachin 1ST切手13種

表4 色と発行切手種類

2色	light green・ultramarine	が19種の切手に、うち地方で	12,11種
3色	amethyst・flame・rust	が16種の切手に、うち地方で	9,9,9種
3色	grey green・slate blue・light blue	が13種の切手に、うち地方で	9,6,3種
3色	bluish violet・greyish blue・stone	が12種の切手に、うち地方で	9,9,6種
2色	red・gold	が10種の切手に、うち地方で	3,0種
4色	dark blue・emerald・dark turquoise・sage green	が9種の切手に、うち地方で	6,6,4,3種
6色	post office red・red brown・yellowish green olive green・emerald green・purple	が8種の切手に、うち地方で	6,6,4,3,0種
2色	sea green・lime green	が7種の切手に、うち地方で	1,0種
3色	pastel green・salmon pink・shocking pink	が6種の切手に、うち地方で	3,3,0種
10色	greyish violet,pale chestnut,pale magenta 他7色	が5種の切手に、うち地方で	3,0種
16色	cerulean blue、deep blue、deep blue 他13色	が4種の切手に、うち地方に	なし
12色	steel blue,grey blue,amber yellow 他9色	が3種の切手に、うち地方に	なし
14色	amethyst purple、blue、bright blue 他11色	が2種の切手に、うち地方に	なし
68色	省略	が1種の切手に、うち地方に	なし

している。料額でなく郵便区分表示の1ST、2NDの多さが目立つが、形状、文字のサイズに種類があり、基本的Machin切手レベルにすると1STが13、2NDは3となる。このことから1ST、50P、20P、5P、10P切手などには時間を要することになることを考える。地方切手では紋章の存在が手がかりになるとは言え、26Pは5種類存在し多少は気をつけたい。このように料額からだけでは整理することは難しいシリーズである。

次に、整理の手がかりは印刷の色である。美しいMachin切手、どのくらいの色が使用されているかを全ての543種の切手を整理した。少なくとも148種の色が使用されており、平均で一つの色が約4種の切手に使用されていることになるが、偏りが非常にある。表4のように16種の切手に印刷された色が3色もあるように整理するのがたいへんであることが如実に想像できる。初めて目にする色名のオンパレードであり、色名から切手を特定することは無理である。sea green、duck egg

blue、ash pink等の色名からはとても切手を特定できない。また、英語での色名の学習になるのではと意外な効用を感じられる。例えば、blueという単語を持つ色名だけでも23、切手87種、greenでは色名で22、切手105種の切手が並んでしまう。これらを並べてみると想像しない切手があったり、差が見いだせない切

手が並んだりとても、色名からの整理は無理なシリーズ切手であろう。色は日本語でさえ色見本がなければ同じであるから、この結果は当然であろう。そこで色見本のネット^{3,4}を試してみた。まず、切手の色で登録されていないものもかなりあり、見つけたものも実際に切手と比較すると驚くほど異なるものもあるし、混乱させられる。会報はモノクロだと、お叱りを受けるのを覚悟で図5に例示させていただく。

切手の色は印刷方法、印刷状態、使用・保存状態で差が生じ、ネット色見本もPC、モニター等で差が生じることは当然にしても、IT社会、Machin切手のような多数の単色切手の説明には色を数値で表現するRGBカラーの数値等で示すことも必要であろう。手持ちの切手をスキャンして数値で照合することが可能になることを期待したい。

最後に、Machinシリーズで一番調べたいことである、色と数字（料額）から整理すると一番難しい切手はなにかということ調べた。色と数字で約2万の組合せが可能であるが、このシリーズでは249の組合せだけであった。形状、意匠を無視して整理すると20Pとlight green、37Pとamethyst等7つの組合せが8種類以上発行されているが、女王像、料額だけの基本的なMachin切手に限定すると右の写真の283種の切手の組合せを整理することが一番必要かと感じ、整理した結果が表5である。



図5 Slate blue 切手と Sea green 切手と色見本

3. <http://irononamae.web.fc2.com/colorlist/en.html>
 4. https://en.wikipedia.org/wiki/Lists_of_colors

思ったより同じ切手が少なく感じるのは判断できない色の差を文字にしていることによると考える。ash pink と red brown、dark green, grey green, と deep grey-green 等、眼には判りにくいものが多い。このように色だけをとらえてみてもこのシリーズは興味深く、机上が美しくなる切手である。

最後に 283 種を発行順にならべて、今回のポケ予防も兼ねた遊びは終りとした。

遊び方に助言をいただいた小西邦彦会員、郵研三田クラブ吉村昭紀氏に感謝いたします。

表5 色と料額別発行数

色	料額	発行数
dark green 色の	2P 切手	4
dark maroon 色の	1P 切手	4
gold 色の	1ST 切手	4
light green 色の	20P 切手	4
light tan 色の	10P 切手	4
ash pink 色の	5P 切手	3
red-brown 色の	5P 切手	3
ash pink 色の	4P 切手	3
flame 色の	1ST 切手	3
lime green 色の	6P 切手	3
purle heather 色の	97P 切手	3
sage green 色の	30P 切手	3
sage green 色の	50P 切手	3
唯一の組み合わせ切手		177



